

15. 情報リテラシーの大切さ

WHO(世界保健機関)は2020年2月「インフォデミックの危険性」について、警告を発しています。この「インフォデミック」とは、information(情報)とepidemic(流行、伝染)の2つの言葉を組み合わせたもので、「信頼性の高い情報とそうでない情報が不安や恐怖と共に拡散され、人々が必要なときに信頼性の高い情報が見つけれなくなることを指しています。

2020年4月、デロイトトーマツコンサルティングは、スペイン風邪、SARS、新型インフルエンザ、新型コロナウイルスの4つのパンデミックにおける、「情報伝達力」を推計しました。

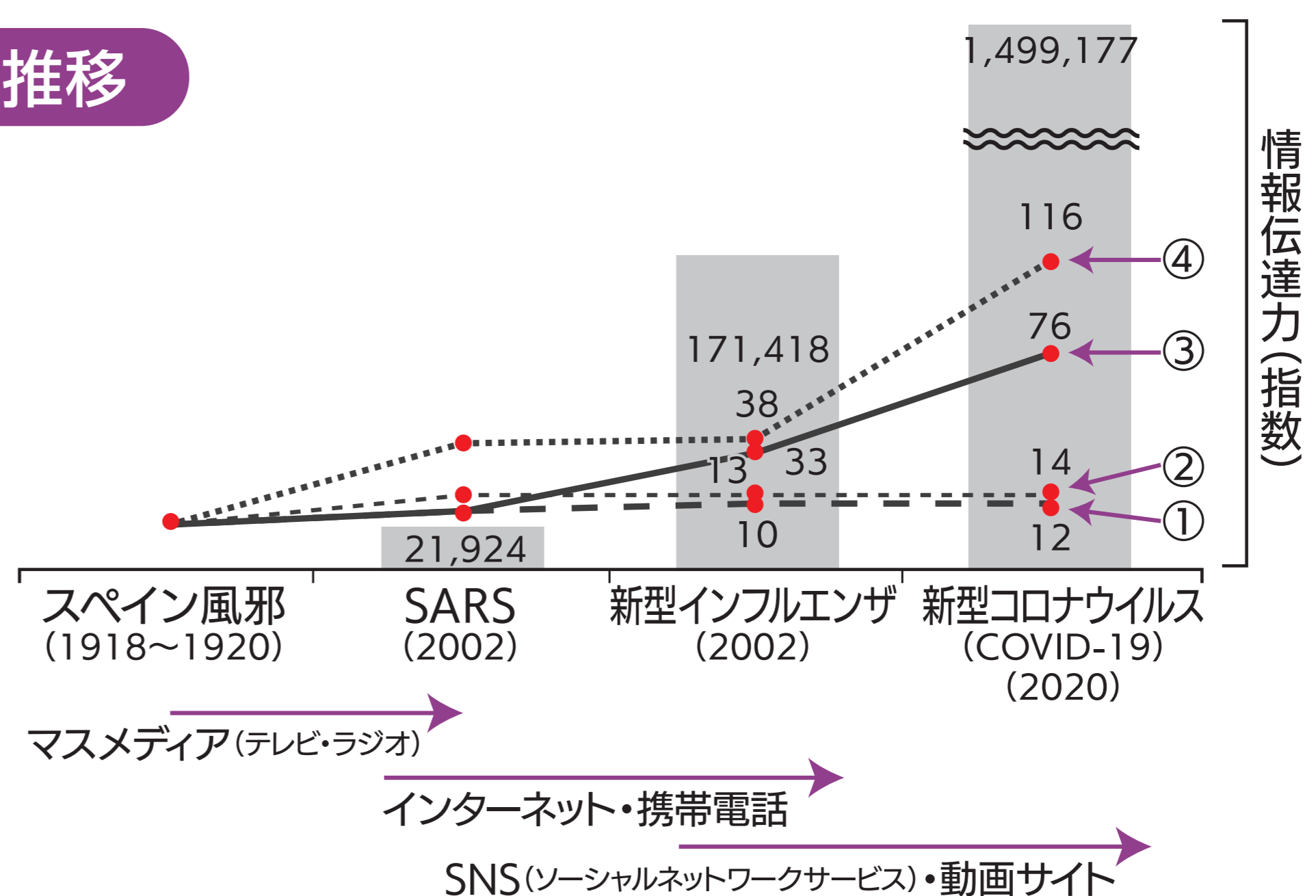
新型コロナウイルスが流行した2020年の情報伝達力はスペイン風邪流行時の約150万倍に達しているという結果となりました。すなわち、それだけ多くの情報が流布されている中で、情報を発信する側であり、受信する側でもある私たち一人ひとりが、デマ情報に踊らされず、また拡散につながらないように情報を見極め、活用する力「情報リテラシー」を身につけていくことが大切です。

パンデミック発生時の情報伝達力の推移

(スペイン風邪流行時を1とした場合)

「情報伝達力」(指数) =

- ①より多くの受信者に(伝達可能人数)
- ②より効率よく(同時伝達性)
- ③より多数の情報を(伝達コンテンツ数)
- ④より詳細に(コンテンツあたり情報量)伝達する力



(出典:デロイトトーマツコンサルティング合同会社)

- ◎ ネット上にはデマ情報も多いので 真実かどうか かわるまで 保留にする
- ◎ 少しでも疑念をもったり、自分で判断できない情報は シェア(リツイート等)しない
- ◎ 常に政府機関・自治体などの 公式情報 を確認する
- ◎ 情報をシェアすることは、「善意であっても」自らが情報の拡散に加担しているということを認識する
- ◎ ネットメディアやブログ等の情報について、本当に 事実確認 されているか、科学的検証 がされているかを 冷静 に判断する